

石包丁づくりにチャレンジ！

日時：令和7年9月15日（月） 10：00～11：30

場所：レスティ唐古・鍵道の駅 2F 多目的室

料金：¥500-（税込） 定員：15名



水田での米づくり(稲作)が急速に広まった弥生時代には、稲などを収穫する道具として石包丁(いしぼうちょう)と呼ばれる、硬い石材から作られた磨製石器(ませいせっき)が使われていました。

石包丁を使った稲の収穫(稲刈り)は、現在のように地面から近い位置から穂軸ごと稲を刈り取るのではなく、稲穂の部分だけをひとつひとつみ取る「穂つみ」だったと考えられています。また石「包丁」と名付けられていますが刃の切れ味は鈍く、稲穂に近い部分に刃を押し当てて、稲穂をむしり取るように収穫していたようです。



粘板岩の形を整え、砥石で磨いて「石包丁」を完成させましょう。

年間体験プログラム参加の方には、作った石包丁を使って、稲刈り体験の時に穂刈をしていただきます。

お申込み・お問合せ先：唐古・鍵遺跡史跡公園事務所

TEL：0744-34-5500（9：00～17：00）

休園日：月曜日※月曜日※月曜日が祝日の場合は次の平日が休み）